



日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2024. 8. 8 NO. 410

連絡先 荻窪5-15-19-704

☎ 080-5531-8236

区議会控室 ☎ 3312-2111 (内) 2319



↑ホームページ

国保料

値上げ通知に 1800件超える問い合わせ

保険料が高い！高くなった根拠は？ 問い合わせ殺到

今年度の国民健康保険料通知が、6月中旬に国保加入世帯にいつせいに送付されました。

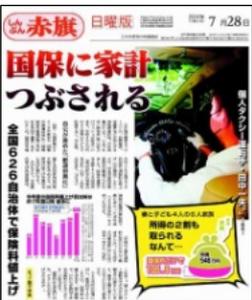
区に聞き取りを行った結果、この通知に対して、わずか7日間で1831件の問い合わせが区民から寄せられたことがわかりました。

問い合わせの半数以上が「保険料が高い」「保険料が高くなった根拠は？」というもので、たと区は説明しています。

年収の15%を占める重い負担

国保料は今年度も大幅値上げとなりました。たとえば年収400万円夫婦と子ども2人世帯のモデルケースの年間保険料は、昨年度と比べて6万6千円余値上がり、61万4千円余となりました。年収の15%を占める重い負担です。

大竹まことゴールデンラジオ「赤旗」日曜版に注目



7月30日、文化放送の「大竹まこと ゴールデンラジオ！」で、「しんぶん赤旗」日曜版(7月28日号)1面の「国保に家計つぶされる」(写真)が取り上げられました。

国保について「前から高いなと思っていた」という大竹さん。番組パートナーの小島慶子さんは「全国知事会や全国市長会などは公費投入、国庫負担を増やし、国保料を引き下げ、協会けんぽ並みの国保料にすることを国に要望し続けているのになかなか通らないというところが、また腹立たしいですね」と語りました。

値上げの要因は、国保加入者の減少や高齢化、医療の高度化等に伴い、ひとり当たりの療養給付費が増加したことに加え、東京都の納付金算定方法の変更、国の激変緩和措置の終了によるものです。

財政責任を果たさない小池都政

2018年度の国保制度の改革により、東京都は「財政責任の責任主体として中心的な役割を担う」とされました。しかし、小池都政は区長会などからの財政支援の求めに冷たく背を向け続けるだけでなく、区市町村が国保料値上げ抑制のために行っている一般会計から国保会計への法定外繰入を廃止するよう迫っています。繰入がなくなれば今でさえ高い国保料がさらに大幅値上げとなります。

1兆円の公費投入で引き下げを

国保料は、会社員などが加入する健康保険と比べて2倍の高さです。全国知事会などは公費投入・国庫負担を増やし国保料を引き下げ、国に要望しています。

日本共産党は、1兆円の公費投入増で家族の人数に応じたかけられる「均等割」を廃止し、「所得割」を引き下げ、協会けんぽ並みの国保料にすることを提案しています。



7月28日号「しんぶん赤旗」より

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

原水爆禁止2024年世界大会

核兵器のない世界の実現を！

8月3日から6日にかけて「原水爆禁止2024年世界大会」が広島で開催されました。杉並原水協からも、代表団7名が参加しました。

杉並代表団が壇上でアピール



大会初日の開会総会では、広島市長や各国の政府代表が挨拶。国内外の市民団体等から活動報告が行われました。東京代表団からの報告では、杉並原水協が紹介され、7名の代表団が壇上に並び、アピールしました。

「核抑止」論と決別し、核兵器禁止条約に参加を

ウクライナ侵略を続けるロシアが核の威嚇を繰り返し、ガザ攻撃を激化させるイスラエルの閣僚が核使用を「選択肢」と発言するなど、世界は核兵器を巡り緊張を強いられています。世界に核戦争への深刻な不安が広がるもと、日本は、唯一の戦争被爆国として、いまこそ「核抑止」論と決別し、核兵器禁止条約への参加を判断すべきです。

岸本聡子区長のメッセージ（抜粋）



被爆国である日本の政府が核兵器禁止条約に背を向けたままであることは残念です。核をめぐる状況はロシアのウクライナ侵攻や、イスラエルのガザ攻撃など、横暴な振る舞いで国際秩序は危機に陥り緊迫の度合いを深めています。

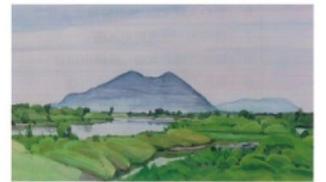
しかし今、世界中の小さな国々が手を取り合って核保有国を包囲し、核兵器禁止条約を発効させています。地域から市民の手によって政治を変えて行く動きは始まっています。世界大会にご参加の皆さん、核兵器廃絶の力ぎを握るのは大国でもなく、著名人でもなく、世界中で連帯する市民です。そのことを今年の世界大会で確認しあいましょう。地域に戻り世界市民の一人として奮闘しましょう。

核禁条約を力に核廃絶へ ただちに行動へ立ち上がろう



6日のヒロシマデー集会（閉会総会）では、岸本聡子区長のビデオメッセージが紹介され、会場から大きな拍手がわきました。大会は「『希望の光』である核兵器禁止条約を力に、『核兵器のない平和で公正な世界』への道を切りひらくため、ただちに行動に立ち上がる」と訴える決議「広島からのよびかけ」を採択しました。

6日、山田耕平区議団幹事長と、新潟県長岡市で開催されている吉田信夫さんの水彩画展「信濃川と山々」に行ってきました。山と緑と信濃川の清々しい風景画に心が癒されました。



信濃川と弥彦山



また、長岡市は8月1日アメリカによる16万発もの焼夷弾によって多くの市民が犠牲になったそうですが、平和への思いを込めた長岡花火や灯籠流し、柿川と一之橋などの絵も印象深いものでした。

地元の新潟日報では「さすらいの風景画家」として大きく紹介されていました



長岡花火